



5月15日
開市文化会館で
岐阜県年金者組合
第11回定期大会の
開催日だよ

四季彩々

No.20 2008年4月号 隔月発行
発行 全日本年金者組合 岐阜県本部
岐阜市美江寺町2-1 教育会館内
編集責任者 上 宗治
土岐市妻木町3247-195 TEL 0572-57-3250

岡本 靖さんをしのぶ会

3月10日に開催されました。

突然、お別れの時が来てしま
いました。
年金者組合の初代県委員長が
岡本先生だったことが、その年
組合結成に運動した私共のその
後の生き方に運動に大きな影響
をもたらしました。先生の提唱
による運動方針は人間味あふれ
私に大きい展望を持たせてくれ
ました。私どもは地域に根を張
り、高齢者一人ひとりとふれあ
い、仲間をふやし、支えあい育
て合う関係をつくることに力を
注ぎました。
岡本先生が言い出された「楽し

惜別

しのぶ会に寄せられた丹羽さんの惜別の言葉を左に記載します。

後期高齢者医療制度

岐阜県内でも7自治体
で中止や見直しを求め
る意見書が決議されました。
その自治体を記載します。
岐阜市・大垣市・瑞浪市
恵那市・高山市・郡上市
池田町

「長寿医療制度」と言
い出しました。余りひど
い制度だから名前を変え
ると言うことです。地獄
を天国と名前を変えるの
と同じです。あきれ怒
りが吹き出ます。
後期高齢者医療制度に
中止や見直しを560地方議
会が可決しました。全自
治体の30・1%にあたり
ます。

意見書 560地方議会に

大垣市議会では公明党以外の賛成
多数で後期高齢者医療制度の廃止
を求める意見書が採択されました。

とても整理され、心情的にも市民
的な言葉で鋭さのある文章です。
全文を左記に記載します。

大垣市議会の国への意見書

後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書

平成19年6月に成立した医療制度改革関連法に
より、本年4月から、75歳以上の後期高齢者を対象と
した後期高齢者医療制度が実施されることになった。
この制度は、高齢者に新たな負担が生じること、
年金から保険料が強制徴収されること、保険料を払
えない場合は保険証を取り上げ、一たん窓口で医療
費を全額負担させること、また2年ごとに保険料が
見直しをされ、将来さらなる負担増が予想されるな
ど、数々の問題を含んでいる。

高齢者の生活は一層厳しさを増してきており、本
制度が実施されれば過酷な負担がさらに追い討ちを
かけ、高齢者の暮らしと健康保持にとって重大な悪
影響を及ぼし、我が国の繁栄に尽くしてきた人々の
老後を踏みじめる暴挙となることは必至である。

よって、国においては、高齢者に大幅な負担増を
もたらし、生存権を脅かす後期高齢者医療制度の廃
止を強く要望する。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出す
る。

平成20年3月3日

大垣市議会

3・13大増税反対集会



岐阜県の
6税務署に
私たちの思
いを個人請
願として国
に届けるよ
うに提出し
ました。

3月13日は大増税
反対全国統一行動日
でした。

民主商工会議所の人たち
他団体と共同で集会やデモ
税務署に個人請願提出を行
いました。
全県の年金者組合員12
9人が参加をしました。個
人請願署名は2058筆で
した。

医療制度改悪の中で大
呼びました。
「赤旗」日曜版に大きく
取り上げられたこともあつ
て、他県の方々の関心を
呼びました。
岐阜県年金者組合で大きな貢献
をしてこられました。
二冥福を心からお祈りします。

訃報

年金者組合 県委員 関支部長
平川 涉さん 逝去
病氣療養中 3月13日 75歳

東海ブロック交流集会・感想

年度東海ブロック支部交流



寸劇を熱演する岐阜県の仲間たち

と・一万余筆に及ぶ署名数と
さまざまなきっかけに動か
されて自民クラブが画期的
な会報を新聞折込で配布し
たこと・こうして市議会で
「見直し」などでなくこの
制度の「廃止を強く要望す
る」意見書が採択されたこ
とを報告しました。

この報告で、年金者組合
員の尽力と自治会・老人ク
ラブの協力が大きく働いて
いることに参加者から驚き
と賛同が寄せられました。

西濃支部 岡部義明
本年度は三重県を担当
長島町の名古屋市休養健康
ホーム「松ヶ島」で開催さ
れました。この名古屋市の
国民健康保険加入者は10
00円の補助があり
ます。ところが「75
歳以上の方は本年4
月からは対象外とな
ります。国保を脱退
し、後期高齢者医療
制度の被保険者には
補助がありません」
と掲示があり、開催
前から名古屋市の方
員を中心に怒りの声
があふれていました。
集会は仲間ふやし
を呼びかける篠塚中
央委員長の報告から
始まった。分會会で
は仲間ふやし・年金
相談の活動とともに、
後期高齢者医療制度
に関する自治体請願
活動の経験交流が今年度の
大きな話題の一つでした。

私は「垣老」拡充請願活動
と大垣市議会の意見書採択
の経緯について報告しまし
た。前者については、岐阜
県の方には昨年11月の県交
流集会でも報告したところ
ですが、大垣市議会の意見
書採択にいたる経緯は
「赤旗」日曜版に大きく
取り上げられたこともあつ
て、他県の方々の関心を
呼びました。

大垣市の老人医療費助成制度
「垣老」の存続が危ぶまれ
ること・年金者組合西濃支
部が呼びかけ、「垣老」の
拡充を進める会」を結成し
て請願活動に取り組んだこ
と・自治会長と老人クラブ
会長すべてに呼びかけたこ
とと3000筆に及ぶ署名
で協力していただけのこと
・「垣老」から後期医療制度
への怒りへとひろがったこ
とを報告しました。



夕食交流会でブッシュ役
熱演の岡部さん

時代小説に出てくる
近江を恥ずかしなが
ら「このえ」と読んで
いました。「近江の
うた」近江で働い
て、開って、恋をし
ての本を読んで間違
いに気が付きました。▼43
人の手記集です。大垣工
場で働いていた人が中心
です。「近江絹糸」「オ
ミネンシ」漢字とカタカ
ナが随所に出てきます。
会社名ですが、読むもの
になぜか敬愛の念まで伝
わってくる名前です▼全
く知りませんでした。50
数年前の出来事、本社大
阪、従業員1万1700
人余のオーミケンシ、労
働条件改善と人権確立の
ため106日のストライキ、
15歳から20歳の人が8割
であったこと、低賃金の
中から出身地の九州、東
北、北海道へと仕送りを
していた時代のストライ
キです。生活維持も苦し
い中、全国からの支援カ
ンパで闘いぬかれた人た
ち、どんなに不安であつ
たか▼しかし、この経験
が生きていく上の原点に
なったと言われまます。結
婚や退職などで全国にバ
ラバラになつても、地域
で様々な活動をされてい
ます。大垣支部の年金者
組合が自民党を巻き込ん
だ後期高齢者医療制度反
対の活動にも表れている
と思います▼さらに新潟
県長岡におられる、山岸
正夫さんは自問されてい
ます。「なぜ人間関係がいっ
そう深めあうのでしょうか
か。発達した資本主義國
の人間の知恵が行き着く
ところ、それがどうさせ
るのでしようか」との言
葉が胸に焼きつきました。

腹が立つ



『全人的治療』という目新しい言葉を2度も眼にした。一つは大塚明彦という精神科医の『その痛みは「うつ病」かも知れません』という本からです。『全人的治療』その人の人格すべてを含めて治療する方法を強調する心療内科のクリニックが増えてきた。しかし医師が父親のように治療の全権を握って全人的に治療する大時代は過ぎ去ってしまふ。そもそも自分以外の人間の全人格など把握できるものではないのです。』と批判的な言葉でした。

2度目は、年金者組合の後期高齢者医療制度学習会で政府側の資料に「75歳を超える受ける医療の内容が変わり、必要な医療が受けられなくなるか」の問形式に「そんなことはありません……高齢者担当医が全人的診療にあたります」

「後期高齢者の方には、全人的かつ継続的に病状を把握する取り組みがされます」と、この言葉が出てきた。どうせ、厚生省の模範問答集からの引用であろうと思われ。

高齢者に、あちこちの病院にかけられない担当医制度。医療費を抑制する魂胆です。全人的かつ継続的なことという、もともたらしい用語を使って、いかにも質の高い医療が行われるような印象を与えようとしている。

「全人的医療」は、大塚医師の指摘のような不可能な代物なのです。診察に手間のかかる全人的診察など、わざわざやる筈がない。そんなことは承知の上で平高でこういうことが云える「高級官僚」という奴に腹が立つ。

多治見支部 前田 純三

憲法と暮らしのシリーズ② 最終回

「館パンだけは当たり、はずれがないなあ」と食通の知人が言う。そうかもしれない。口の中に入れたときの、あの香ばしさは、昔も今も、変わりがない。

ところで「当たりが外れた」といえば九条を中心にした憲法の記事を交えようとした日本の偉人たちがしょつ。なにしろ、先頭を走っていた安倍内閣が、内外に対して無理を重ねて突然政権をなげだしたからです。

これで「明文改憲」は一頓挫いたしました。

「こんなはずでなかった」と言うエライ人たちの嘆き

「海外派兵恒久法」です。何しろ、期限をきめずに、いつでも自衛隊を海外に派兵できるというものです。お互いに用心してゆきましよう。

2年間、このコーナーを読んでいただき、本当にありがとうございます。郡上支部 加藤清二



新しい仲間の紹介



2月から4月4日までの組合加入者は25人です。

支部名	岐 阜	平光 孝行	久世 早苗	越名 千代子
	各務原	木村 眞策		
	西 濃	古田 栄子		
	多治見	林 重雄	田中 通世	浦 登代子
		渡辺 洋子	林 しも子	小池 洋子
		加納 智子		
	恵 那	所 茂子	松下 昌司	原 澄男
		坪井 美夫	松下 和子	曾我 富
		伊藤 利成	加藤 昌宏	上田 さよ
		荻山 幸江	田口 克子	野村 和子
	飛 騨	今井田 文司		



文藝・浮世うた

坂井八郎さんからお便りと歌集を頂きました。お便りと短歌の一部を紹介します。

毎号楽しく「四季彩々」読ませてもらっています。どんなに忙しいときでも最後まで読んでしまいます。肩がこらせずに楽しく利巧にさせてもらえる魅力があります。編集者一同の努力のおかげと感謝しております。さて、この度小生恥ずかしながらも歌集を出しました。ひよとして間に合う歌がありましたら使ってください。ボツにしてください。結構です。「原稿お願いします」の一言に勇を奮ってお送りしました。お手伝いが出来たら嬉しい限りです。

余りにも激しきウキの引き込みに応じ後れて空しき水面
歌に酔い子節きかせて歌手気取り演歌は生きがい拍手にまた乗る
車換えるつもりはないのにチラシ見てしだいに溶け行く心恐ろし
やせこけたアフガンの児ら食ねだり画像に迫れど術なきが悲し
分かるよに教える教えろと迫る子の喚きに目覚む職去りてなお
「敬老を」消えろ」と言う老いのあり淋しき笑いに切なさこみ上ぐ
ヒヨドリはイラク戦争責むるごとピースピースと今朝も雄たけぶ
CMがきめてとなりて薬買ういつしか我が脳毒されていて
もらうものは風邪くらいよと苦笑して薬飲む妻急いで老いたり
笑顔まで野菜市場で売っている卒寿の姉は生きがいという
花の香は風に誉められ渡りくる遠慮は要らぬと窓開け放す
ゴムマリを投げ打ち走るそれだけが児等の世界を一つにさせる

関支部 坂井 八郎

07年度末毎支部交流会



面白い話しで会場を笑わせる福井信郎県書記長

東海ブロック交流集会。感想

第一日目は4分教会に分かれての討論会が行われました。やはり後期高齢者問題の憤怒がともりアルに語られました。政治の行き先は悲しさと、ままたらぬもどかしさ悩みが切実に伝わってきて組合員が団結して反対をしていかねばと口々に語って居られました。

政府に直接働きかけていくのは年金者組合だけのようないたしませんでした。何の気なしにダラダラと署名をして来ましたがこれから一つ一つの説明をして、なぜ署名が必要なのかを皆様に伝えられるようにしたいと痛感いたしました。

事実大垣地区ではちゃんと成果を上げて居られる故、感心致しました。

愛知県の婦人部は文化祭等で楽しい芸能大会を毎年開かれ、プロも顔負けの芸達者が出演され、見物に見えた方がこんな楽しい会ならと入会なさるそうです。又、止

他県の方々と接して相当刺激を受けてまいりました。

津川支部に分かれるそうで、もうすぐ星影のワルツがながれるだろうと別れることは辛いけど、仕方ないんだ皆の為……などと笑わせて貰いました。

最後は他県の方々と名刺交換をしたりして分かれました。次回には新しい方々に新しい刺激を触れたいと思っています。

多治見支部 水野・後藤



全体集会で報告を聞く参加者